



株式会社 サンウェルズ
SUNWELS

2023年3月期 第1四半期

決算説明資料

2022年8月10日



I. 2023年3月期 第1四半期決算概況	P. 2
II. 今後の見通し	P.15
III. 事業等説明	P.19

I .2023年3月期 第1四半期決算概況



決算サマリー

■ 前年同期比で大幅な増収増益をPDハウスが牽引(前年同期比+5施設)

売上高：2,811百万円（前年同期比+1,079百万円）

営業利益：192百万円（前年同期比 +223百万円）

■ PDハウス新規開設^{※1}3施設分の開設コスト吸収し、営業利益192百万円計上

前年第1四半期は3施設開設分のコスト負担が大きく営業利益△30百万円、今期は3施設分の開設コストを吸収して営業利益192百万円と前年同期比で223百万円増加

■ PDハウス通期8施設の開設確定

第2四半期はPDハウス2施設の新規開設^{※2}

23年3月末、PDハウス20施設（定員1,047名）の運営となる

※1…PDハウス足立（5月）、PDハウス船橋（6月）に加え、PDハウス東大阪（7月）含む

※2…PDハウス東大阪（7月）、PDハウス八尾（9月）



決算状況

(前年同期比較)

■ PDハウスの開設順調、前年同期比で大幅な増収増益

(単位：百万円)

	2022年3月期 第1四半期実績 (通期実績対比進捗率)	2023年3月期 第1四半期実績 (通期予想対比進捗率)	前年同期 増減額	2023年3月期 通期予算
売上高	1,732 (20.6%)	2,811 (21.6%)	+ 1,079	12,990
営業利益	△30 (-)	192 (14.6%)	+223	1,320
経常利益	△43 (-)	126 (12.6%)	+169	1,001
当期純利益	△31 (-)	84 (12.9%)	+116	655



決算状況

(予算実績比較)

- 売上高 : 1Q予算比 50百万円の上振れ (達成率101.8%)
- 営業利益 : 1Q予算比 29百万円の上振れ (達成率118.4%)
- 四半期純利益 : 1Q予算比 14百万円の上振れ (達成率121.3%)

(単位：百万円)

	2023/3期 1Q予算	2023/3期 1Q累計実績	予算実績 差異	予算達成率
売上高	2,760	2,811	+50	101.8%
営業利益	162	192	+29	118.4%
営業利益率	5.9%	6.8%	+0.9pt	—
経常利益	109	126	+16	115.4%
四半期純利益	69	84	+14	121.3%



決算状況

(通期業績予想の四半期分解)

■ PDハウスの施設数増加により、四半期毎で業績は右肩上がり

(単位：百万円)

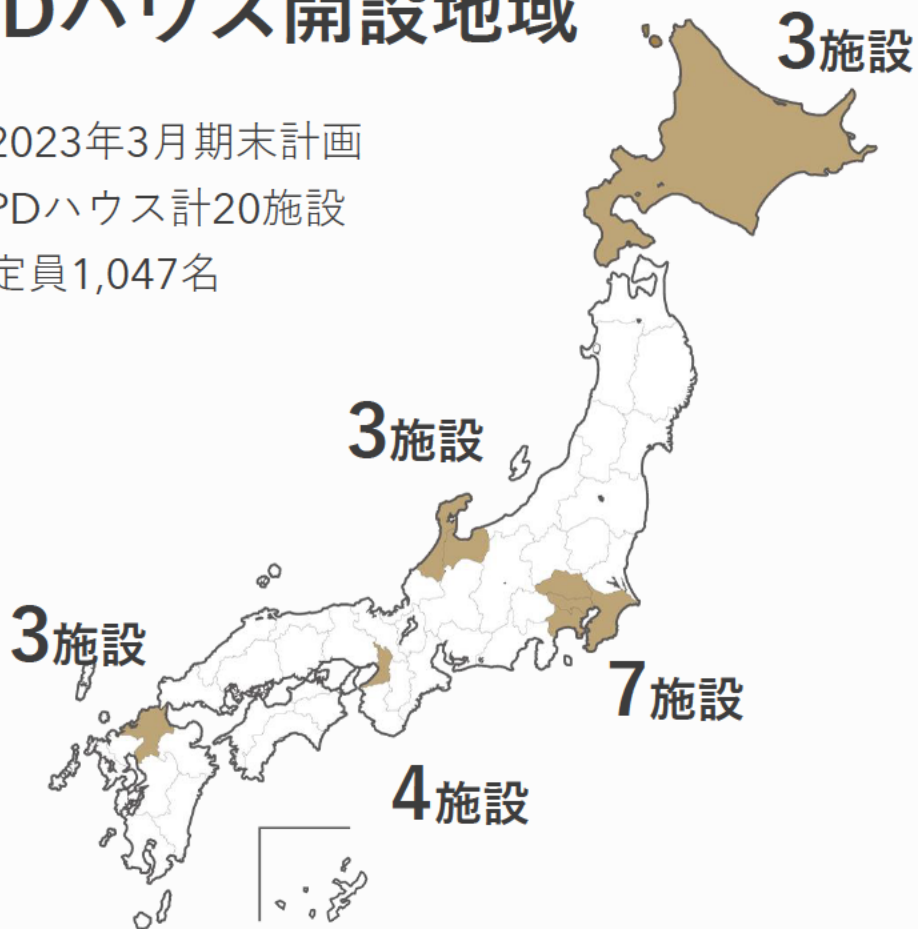
	2023/3期 1Q予算			2023/3期 2Q予算			2023/3期 3Q予算			2023/3期 4Q予算			2023/3期 業績予想
売上高	2,760			3,073			3,442			3,714			12,990
通期比	21.3%			23.7%			26.5%			28.6%			100.0%
営業利益	162			267			416			474			1,320
通期比	12.3%			20.2%			31.5%			35.9%			100.0%
経常利益	109			189			329			373			1,001
通期比	10.9%			18.9%			32.9%			37.3%			100.0%
四半期（当期）純利益	69			124			216			245			655
通期比	10.7%			19.0%			33.0%			37.4%			100.0%
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2023/3期
PDハウス開設施設数	-	1	1	1	-	1	2	-	1	1	-	-	8



2023年3月期 PDハウス開設計画

■ PDハウス開設地域

2023年3月期末計画
 PDハウス計20施設
 定員1,047名



2023年3月期は関東(4)・関西(2)地区の新設に注力

開設予定時期 都道府県 開設場所 定員数(名)

開設予定時期	都道府県	開設場所	定員数(名)
2022年	1Q	5月 東京都	足立 50
		6月 千葉県	船橋 45
	2Q	7月 大阪府	東大阪 48
		9月 大阪府	八尾 60
	3Q	10月 富山県	秋吉 52
		10月 東京都	西東京 60
	12月 埼玉県	南与野 60	
2023年	4Q	1月 北海道	月寒 59

2024年3月期は新規9施設分契約済み
 (中期経営計画で公表した8施設に加えて新たに1施設増)

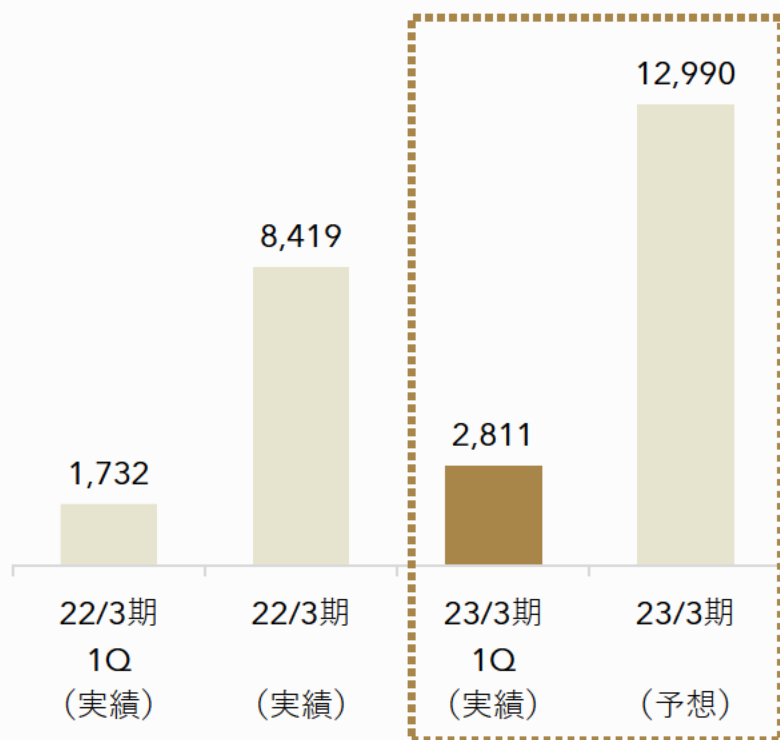
※関東(5)・関西(2)・中部(1)・九州(1)



前年同期比-主要財務指標

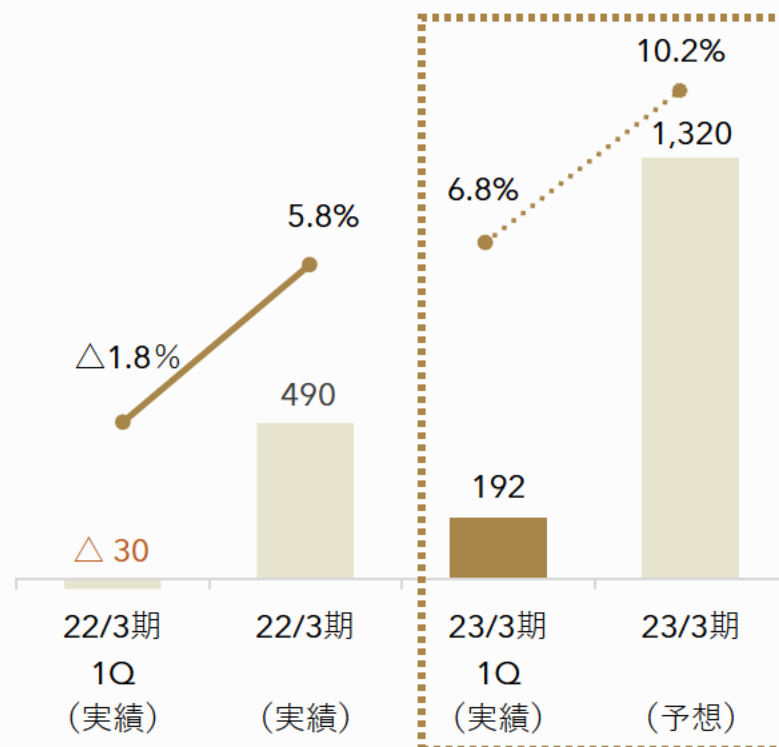
売上高

(百万円)



営業利益/営業利益率

(百万円)

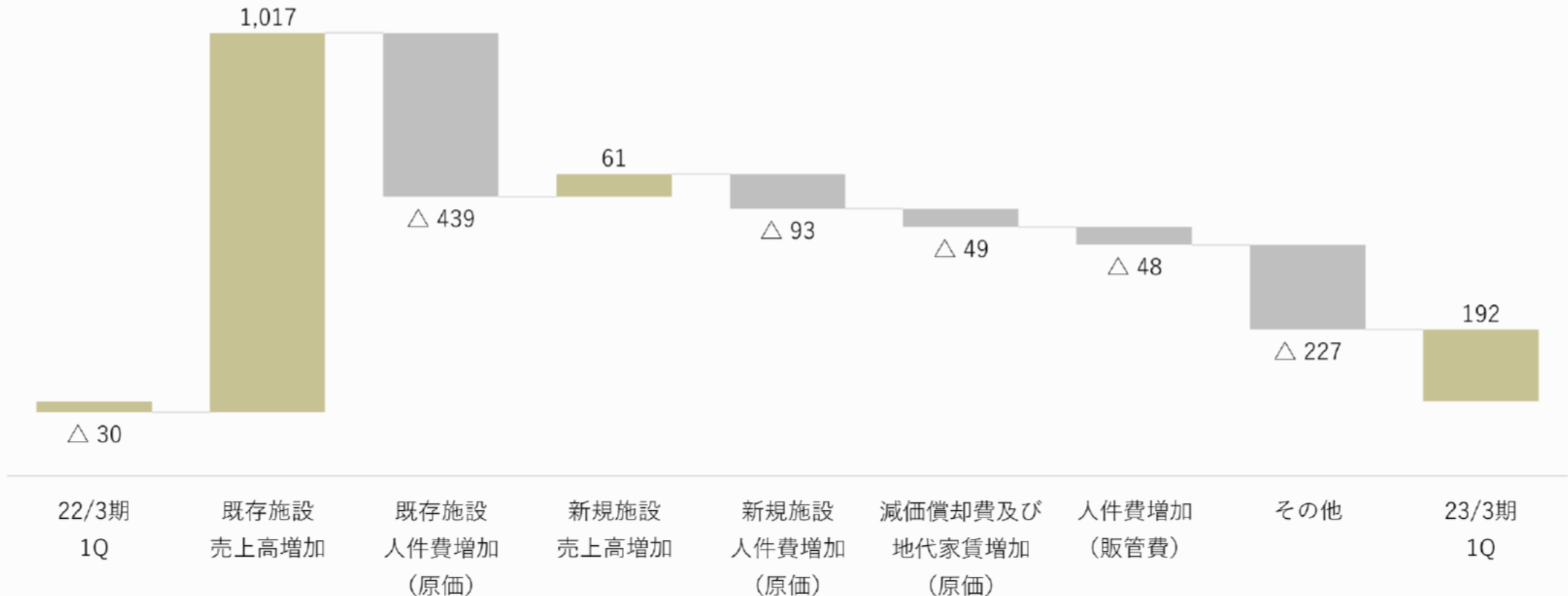




営業利益増減要因 (22年3月期第1四半期 - 23年3月期第1四半期)

■ PDハウスの開設順調 (前年同期比+5施設)により営業利益増加

(単位：百万円)



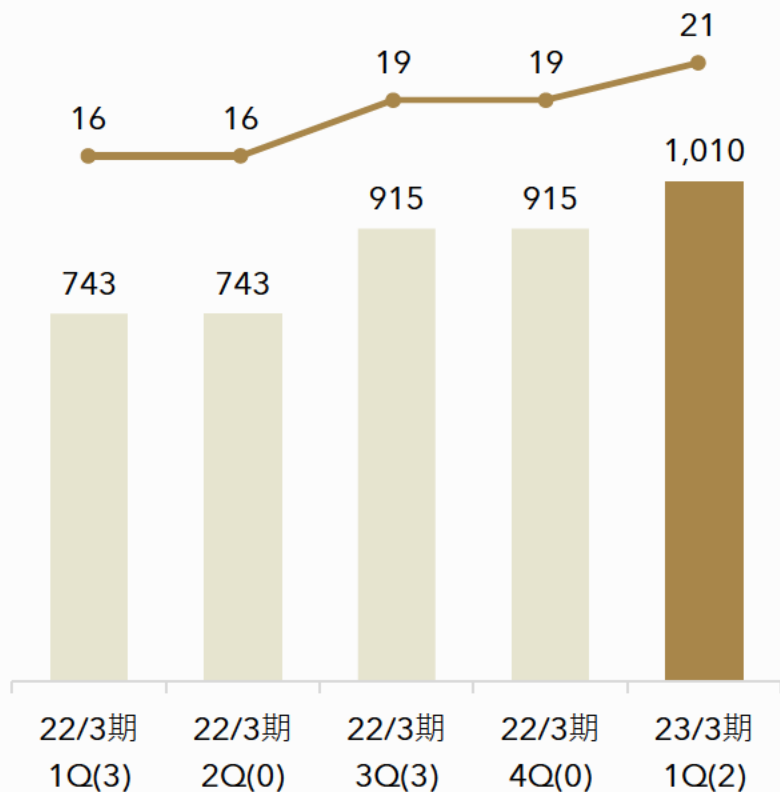


四半期業績推移 – 主要財務指標 (直近1年間)

— 施設数
() 開設施設数

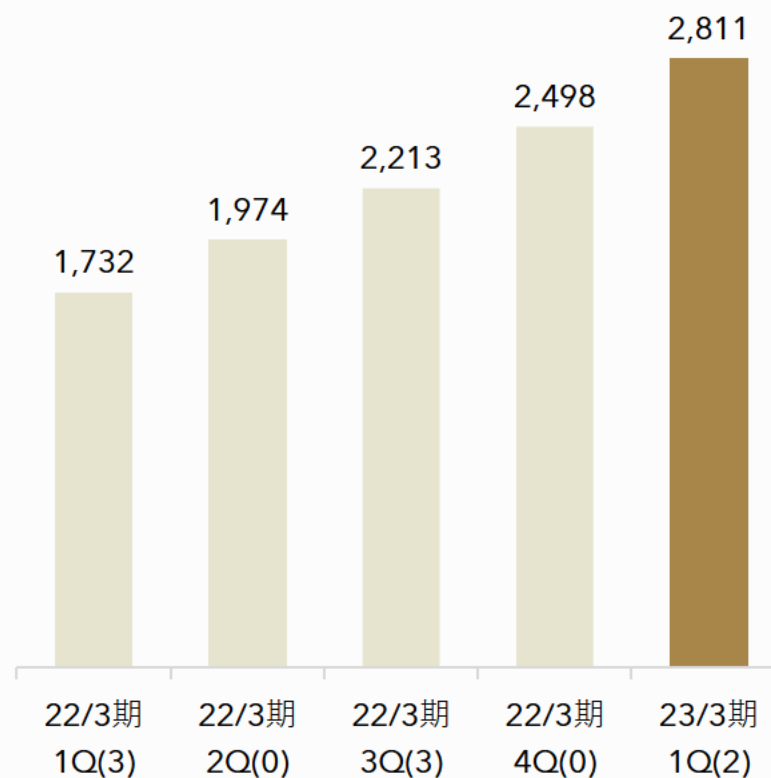
施設数/定員数

(施設/名)



売上高

(百万円)



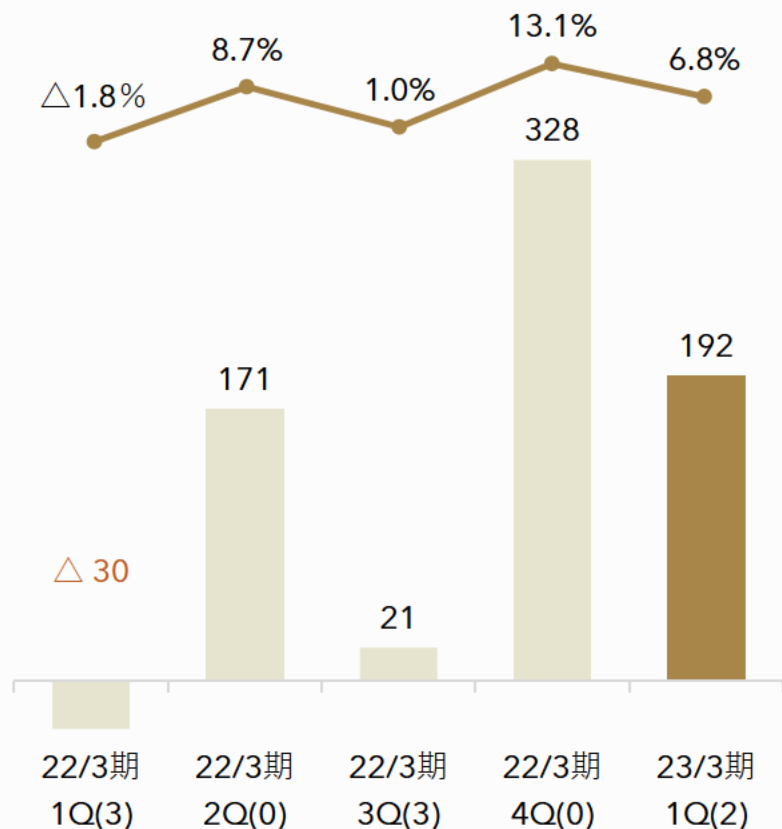


四半期業績推移 – 主要財務指標 (直近1年間)

— 売上高比
() 開施設設数

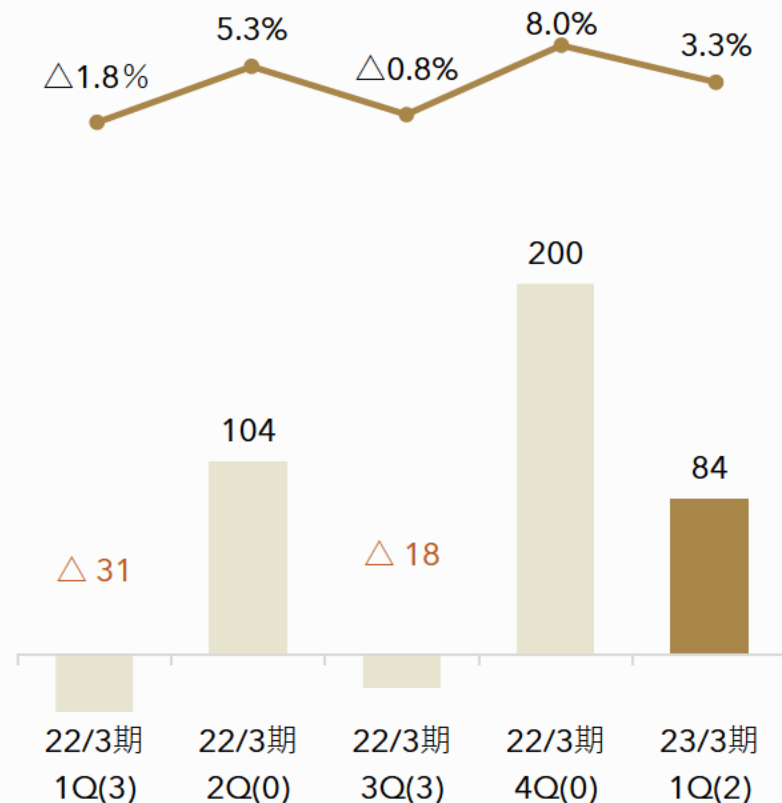
営業利益

(百万円)



当期純利益

(百万円)





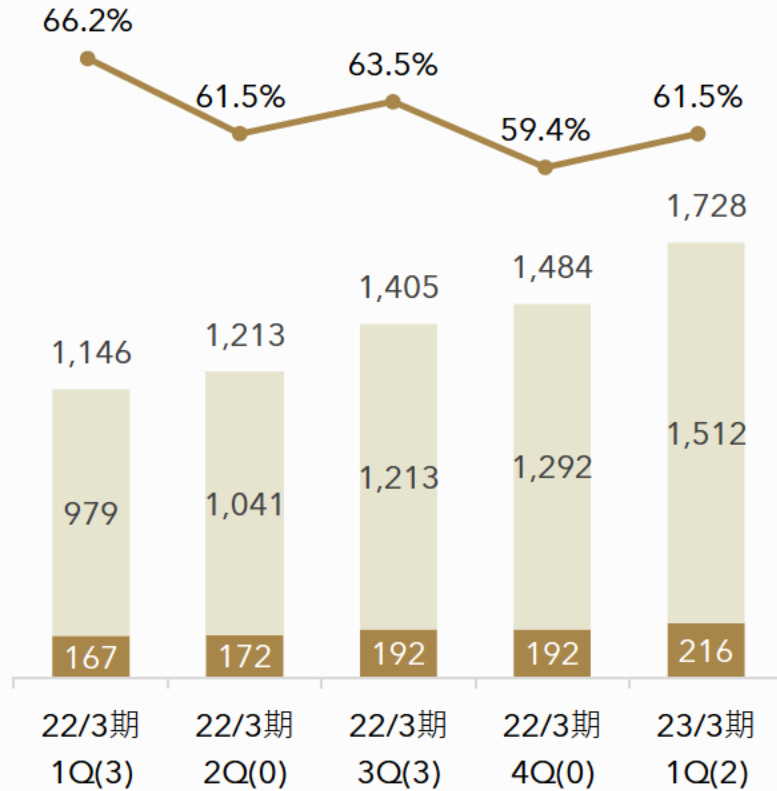
四半期業績推移 – 主要売上原価/販管費 (直近1年間)

— 売上高比
() 開施設数

人件費

(■ 売上原価 / ■ 販管費)

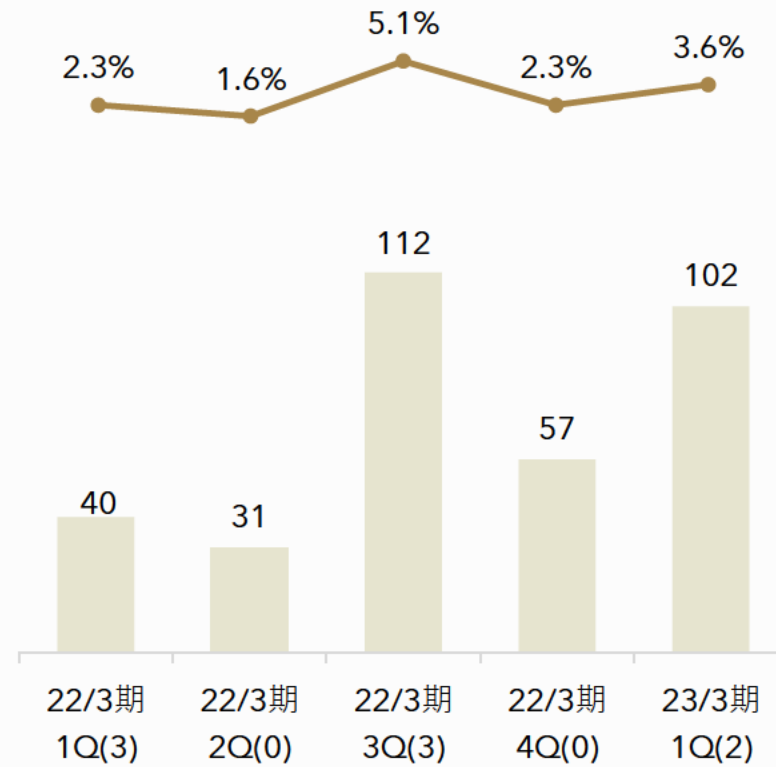
(百万円)



採用費

(販管費)

(百万円)





PDハウス稼働率推移[※] (2022年3月期、2023年3月期第1四半期累計期間)

区別	施設数	定員数 (名)	2022年3月期											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
既存PDハウス (開設：2021.3まで)	6	296	95%	94%	95%	95%	96%	93%	95%	93%	93%	94%	94%	97%
新規PDハウス (開設：2021.4から)	6	317	—	40%	39%	55%	63%	72%	65%	62%	63%	72%	77%	84%
開設施設数			—	2	1	—	—	—	1	1	1	—	—	—

区別	施設数	定員数 (名)	2023年3月期第1四半期累計期間											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
既存PDハウス (開設：2022.3まで)	12	613	92%	94%	96%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新規PDハウス (開設：2022.4から)	2	95	—	38%	57%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
開設施設数			—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※稼働率 = $\frac{\text{各施設の月末入居者数}}{\text{各施設の定員数}}$



貸借対照表 (2022年6月末時点)

(単位：百万円)

	21/3末	22/3末	22/6末	22/3末 増減率
資産	4,788	9,015	14,357	+59.3%
流動資産	1,585	2,547	5,948	+133.5%
固定資産	3,202	6,468	8,408	+30.0%
負債	4,094	8,150	10,349	+27.0%
流動負債	1,650	3,116	3,514	+12.8%
固定負債	2,444	5,034	6,835	+35.8%
純資産	693	864	4,007	+363.4%
自己資本比率	14.5%	9.6%	27.9%	18.3pt

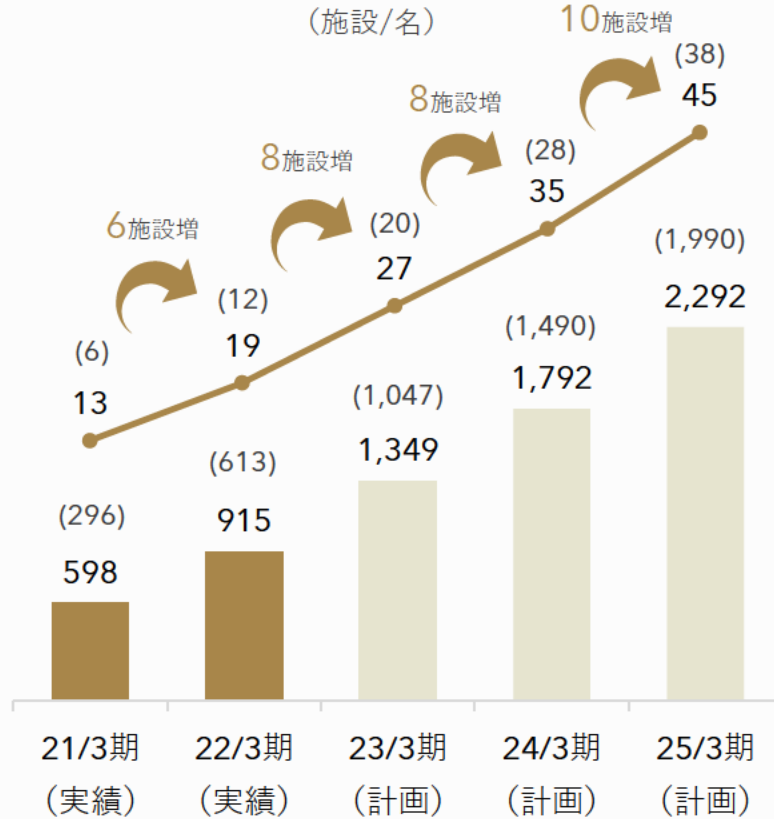
II. 今後の見通し

(中期経営計画 2022.6.27公表)



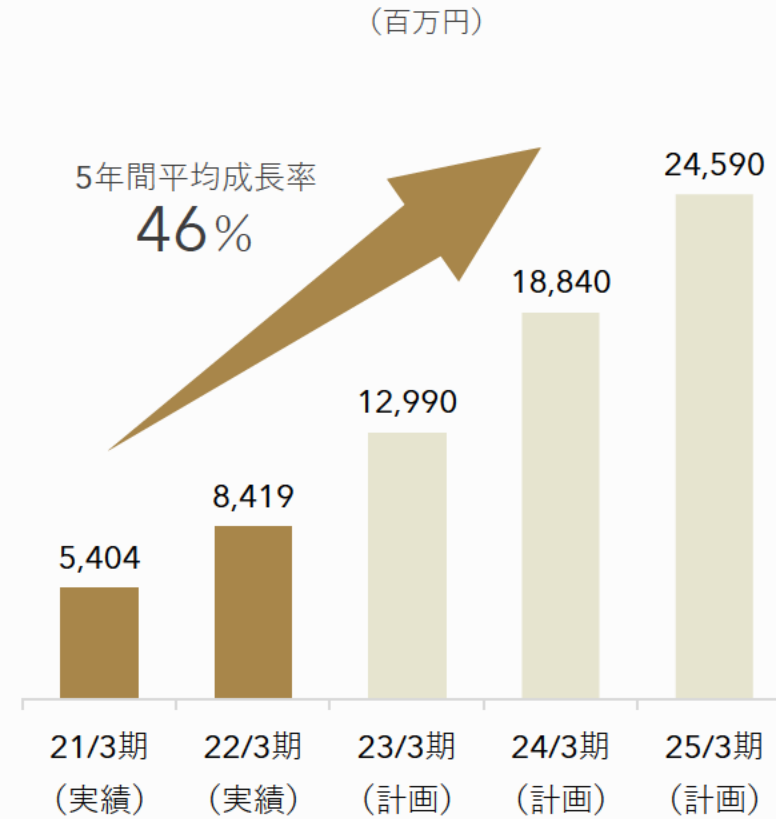
施設数/定員数及び売上高 (中期経営計画)

施設数/定員数



※ () : PDハウス施設数/定員数

売上高

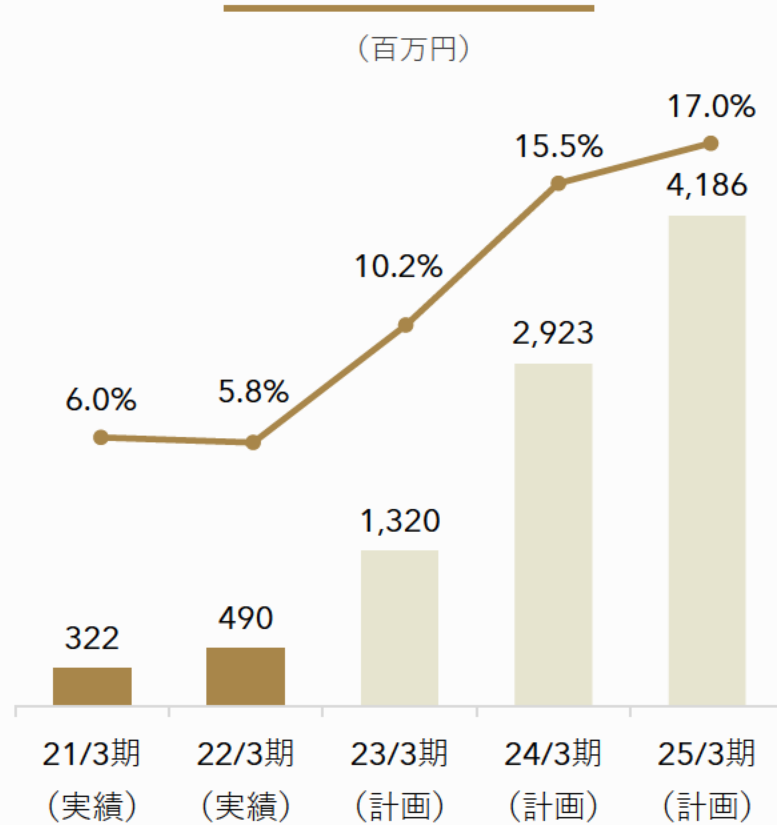


※2024年3月期は8施設開設予定の見通しとなっております

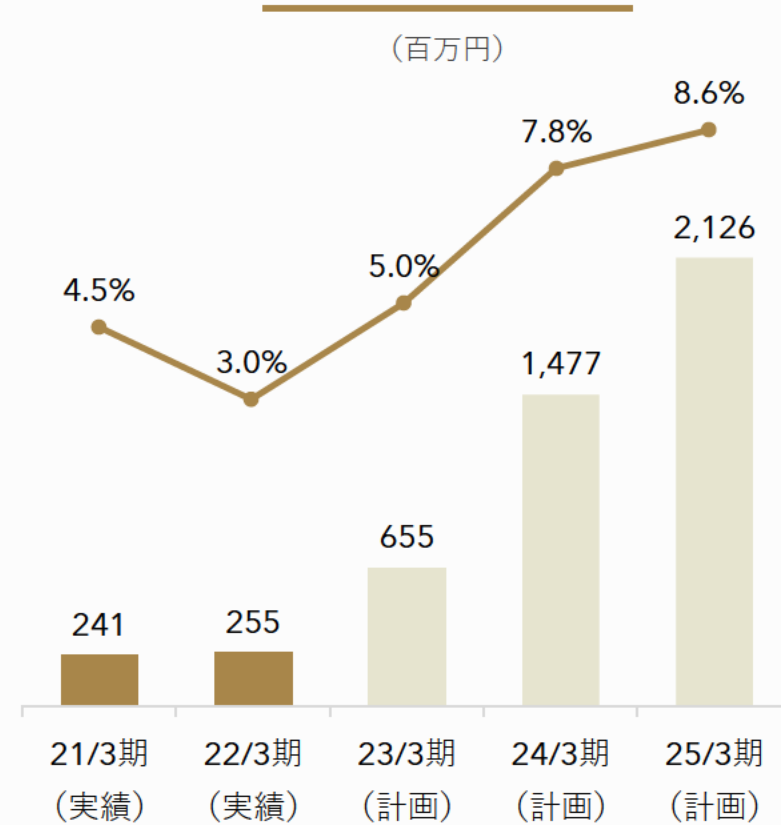


営業利益/当期純利益 (中期経営計画)

営業利益/営業利益率



当期純利益/当期純利益率





株主配当

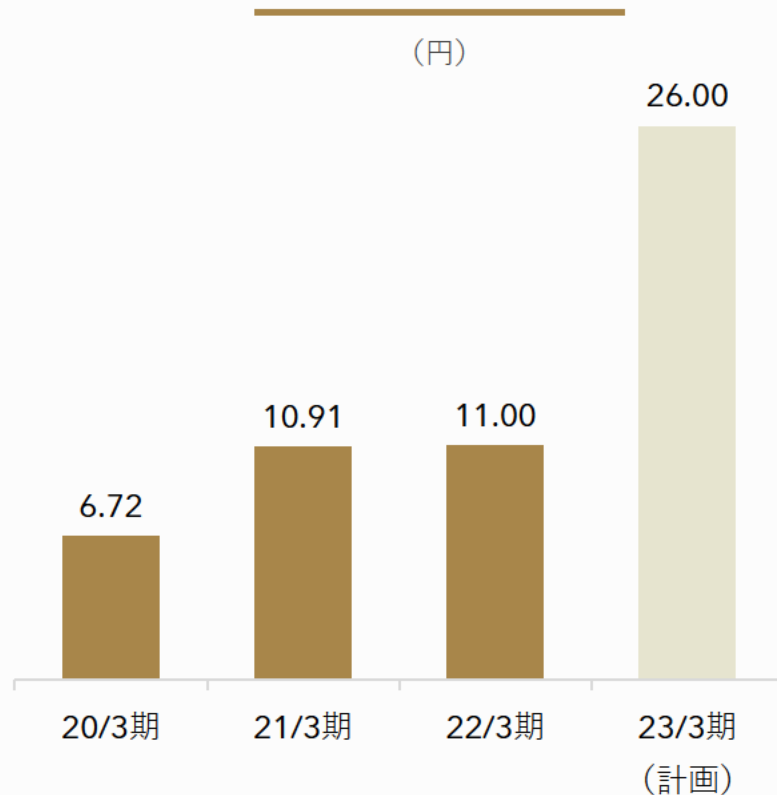
■ 株主配当計画

- ・ 23年3月期の1株当たり配当金は26.00円を計画
（中間配当13.00円、期末配当13.00円）
- ・ 今後も各期の利益実績に応じた株主配当を計画

■ 株主配当方針

- ・ 事業活動により創出した利益を「株主の皆様へ還元すること」、
「企業価値の最大化のための成長投資を行うこと」をもって株主
還元に関する基本方針とします
- ・ 株主配当は、安定性および継続性に配慮しつつ、業績動向、財務
状況等を総合的に勘案して実施していく方針です

1株当たり配当金



※2021年3月25日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割、2022年2月15日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っているため、20/3期の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の1株当たりの配当金の金額を記載



III.事業等説明



会社概要

社名	株式会社サンウェルズ 【英文名】 SUNWELS Co., Ltd.
本社	■ 東京本社 (東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸の内ビルディング9階) ■ 金沢本社 (石川県金沢市二宮町15番13号)
支社	■ 大阪支社
代表者	代表取締役社長 苗代 亮達
設立	2006年9月
資本金	35,000千円 (2022年3月期)
従業員数	1,341名 (臨時雇用86名含む / 2022年6月30日現在) ※
事業内容	介護事業など (医療特化型住宅、デイサービス、グループホーム、福祉用具貸与等) ■ パーキンソン病専門介護施設「PDハウス」運営



会社概要（経営体制）



代表取締役社長 苗代 亮達（なわしろ りょうたつ）

1973年7月石川県生まれ 大学在学中に腎臓病を患い中退を余儀なくされる。以降19歳から25歳までの間、闘病生活の為定職に付けられない日々を過ごす。病状から回復した26歳の時に自身の闘病生活から病気の方に役立つサービスを作りたいと思い、父の会社である(有)アイテムを引き継ぎ、介護保険対象者向けの住宅改修事業を開始する。以降2006年(株)ケア・コミュニケーションズ、2007年(株)セントラルケアスタッフ、2008年(株)サライを創業し、2011年3社合併し(株)サンウェルズを設立し、地域にない新しい介護サービスを次々に展開し現在に至る。

専務取締役 越野 亨（こしの とおる）

元地方競馬会所属騎手。2004年に株式会社アイテム（現：当社）に入社。2015年に当社取締役に就任。経営戦略部、運営事業部を管掌。

常務取締役 長山 知広（ながやま ともひろ）

作業療法士の資格を持つ。2009年に株式会社ケア・コミュニケーションズ（現：当社）に入社。2015年に当社取締役に就任。採用部、施設開発部、開設支援部を管掌。

常務取締役 上野 英一（うえの えいいち）

北陸銀行入行後、支店長、常任監査役を歴任。2009年にEIZO株式会社の常勤監査役に就任後、2016年に社外取締役就任。2018年に当社取締役に就任。総務経理部を管掌。

取締役 中山 美智代（なかやま みちよ）

当社初の女性取締役。2009年に株式会社セントラルケアスタッフ（現：当社）に入社。2015年に当社取締役に就任。人事部、定着管理部を管掌。

社外取締役常勤監査等委員

田中 誠一（たなか せいいち）

元 株式会社クスリのアオキ 常勤監査役

社外取締役監査等委員

畠 善昭（はたけ よしあき）

税理士法人畠経営グループ 代表取締役

社外取締役監査等委員

中西 祐一（なかにし ゆういち）

中西祐一法律事務所 弁護士



会社概要 (売上構成比)

(2023年3月期第1四半期 / 実績)

売上区分	売上 (百万円)	売上構成比
1 / PDハウス	1,930	68.7%
2 / 医療特化型住宅	619	22.0%
3 / 福祉用具事業	113	4.0%
4 / デイサービス	97	3.5%
5 / グループホーム	40	1.5%
6 / 加圧トレーニング事業	9	0.4%

成長ドライバー
全国展開加速中
▶ 今後は集中的にPDハウスを
新設予定

▶ 安定した経営基盤
北陸エリアで展開



会社概要（ビジネスモデル）

パーキンソン病の方を対象とした
専門施設「PDハウス」を主軸に運営

[入居対象者]

パーキンソン病

進行性核上麻痺、大脳皮質基底核変性症

多系統萎縮症、脊髄小脳変性症の方も対応可能

PDハウス
3つの特徴

- 1 パーキンソン病に特化した
リハビリプログラム（専門医監修）
- 2 神経内科専門の医師による訪問診療
- 3 24時間体制の訪問看護・服薬管理










会社概要 (パーキンソン病)

脳内のドーパミン神経細胞の変性を主体とする進行性変性疾患で、国の指定難病である。症状は多岐に渡り、世界的にも根治する治療法は確立されていない。病状進行度を表すものとして、以下の表がある。

ホーエン・ヤール重症度*の変化 (*パーキンソン病の進行度を示す指標)

I 度	II 度	III 度	IV 度	V 度
<p>手足の震え 筋肉のこわばり</p> <p>体の片側 体の両側</p>  	<p>小刻みに歩く、 すくみ足がみられ、 転びやすくなる</p> <p>日常生活に支障が出る</p> 	<p>立ち上がる、 歩くなどが 難しくなる</p> <p>様々な場面で介助が必要</p> 	<p>車いすが必要になり ベッドで寝ていることが 多くなる</p> <p>全介助が必要</p> 	

介護サービスが中心

PDハウス入居対象者 = 介護保険 + 医療保険サービスが利用可能

治療における
3つの課題

- 1 / 通いリハビリにも限度があり、入院以外は**毎日リハビリを受けられる場所がない**
- 2 / 病院に通うことに支障が出始め、**専門医による診察が受けられなくなる**
- 3 / 薬の量や頻度の増加に伴い**適切な服薬管理が難しくなる**



会社概要 (ミッション)

難病でも自分らしく生活できる施設「PDハウス」の全国展開

パーキンソン病専門施設で、3つの課題を解決するサービスを提供

パーキンソン病治療 3つの課題

- 1、毎日リハビリを受けられる場所がない
- 2、専門医による診療が受けられなくなる
- 3、適切な服薬管理が難しくなる



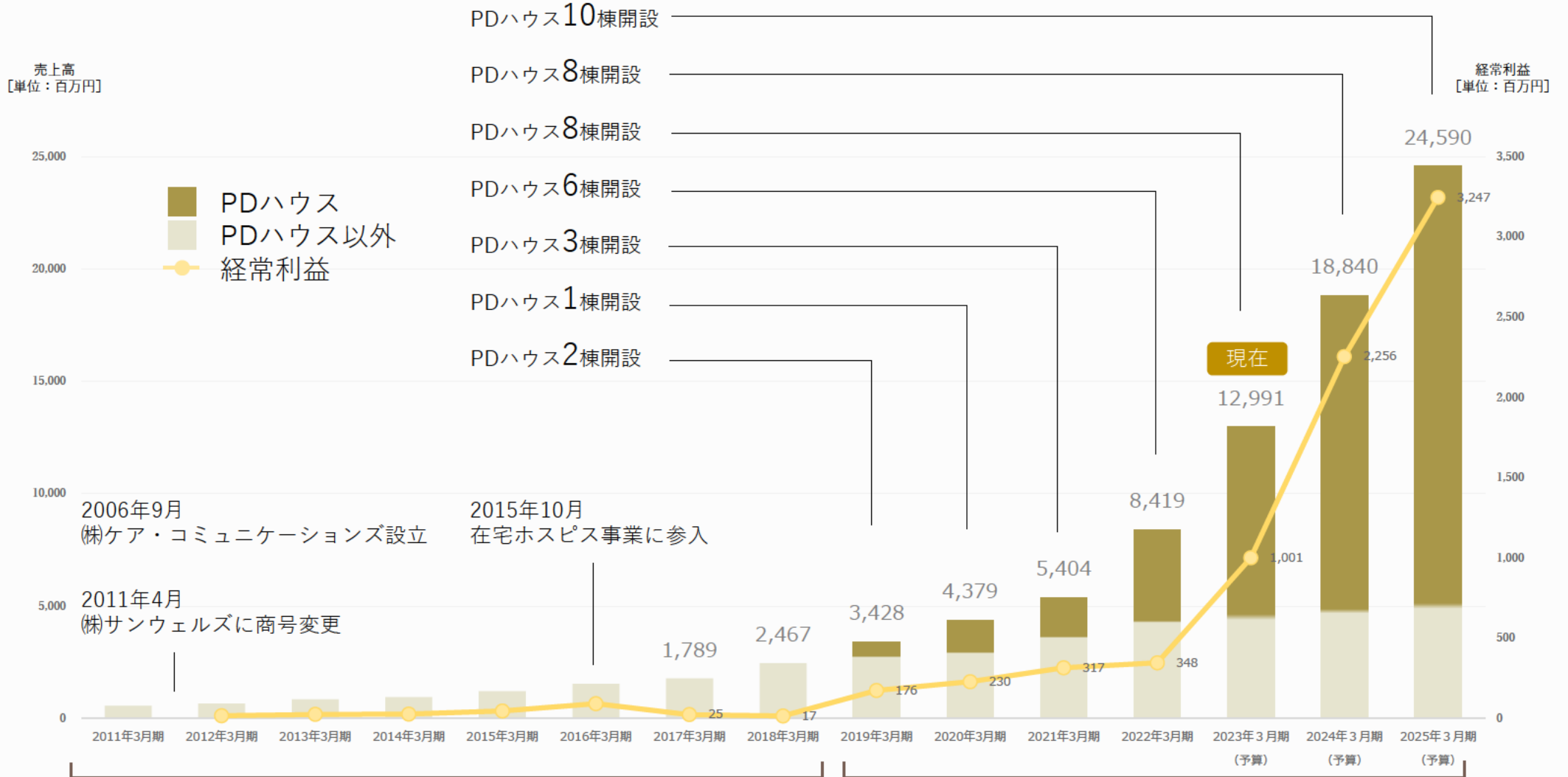
PDハウス3つの サービスで解決

- 1、パーキンソン病に特化したリハビリプログラム (専門医監修)
- 2、神経内科専門の医師による訪問診療
- 3、24時間体制の訪問看護・服薬管理



会社概要 (沿革)

2019年3月期PDハウス初開設、以降全国への開設を加速





パーキンソン病患者数と市場規模の比較



* 厚生労働省「2020年度衛生行政報告例」(2020年度末現在)



長期持続的な成長に向けて（ESG）

Environment

（環境）

環境に配慮したPDハウス

- ・エネルギー効率に配慮した建設資材を使用
- ・長期使用可能なステンレス製ゴミ箱の配置
- ・全館LED電球使用
- ・99%再生材ごみ袋使用によりCO₂排出削減に貢献

Social

（社会）

パーキンソン病患者の看護・介護のニーズに応えるPDハウス

- ・難病でも自分らしく生活できる施設「PDハウス」の全国展開
- ・看護・介護従事者に対する大学・病院と連携した教育・研修
- ・大学病院と共同研究、研究機関と連携した新サービスの開発

Governance

（ガバナンス）

ガバナンス・リスクマネジメント・コンプライアンスの徹底

- ・監査等委員会設置会社・指名報酬諮問委員会
- ・リスクマネジメント・コンプライアンス委員会
- ・内部通報制度（社内・社外受付窓口）



サステナブルな課題への
取り組みを本格化

Environment
Social
Governance



免責事項・お問い合わせ

本資料に記載されている当社に関する予想、計画等の将来に関する記述は、いずれも当社が現時点で把握している情報に基づく予想値です。これらは経済環境、規制緩和などの不正確な事象の影響を受けることで実現しない可能性があります。また、この資料に記載されている予想が計画等将来に関わる記述とは異なる場合があることをご了承ください。

【お問い合わせ先】

株式会社サンウェルズ 総務経理部 電話：076-272-8982 / E-mail：contactus@sunwels.jp